

ゴールデンウィークの山

昨今休日が増えたとはいえ、ゴールデンウィークは年末年始と並んで長期山行のできるチャンスである。ゴールデンウィークは祝日の並び方で休みが安定しないが、年末年始は 31 日から 3 日まで山行日数 4 日間は絶対オーケーだったのに、元日は家に居なければならないという輩が増え、長期山行のチャンスはシャボン玉のように消えてしまった。いまやゴールデンウィークが、休める日数が安定しないとはいえ、長期山行の貴重なチャンスになっている。

ぼくが現役の頃は、元日は家という輩は居なかったから、年末年始は南アルプスで冬山合宿を持っていた。なぜ南アルプスかというと、北アルプスで悪天につかまると一週間は回復しない、南アルプスなら悪天につかまっても 3 日間がんばれば天気は回復する。自分の体力を考えると一週間は持たないと思うわけで、3 日間ならがんばれる。だから年末年始・厳冬期には北アルプスは避けることにした。その替わりゴールデンウィークの合宿で取り上げる山は、北アルプスとした。こんな考え方も遭難事故防止策の一つとってよいと思う。

年末年始には塩見岳～赤石岳縦走、赤石岳北壁、聖岳～光岳縦走、塩見バットレス～仙丈岳縦走、間ノ岳尾無尾根～仙丈岳縦走、間ノ岳弘法小屋尾根～農鳥岳縦走、無名山塾では仙丈岳と甲斐駒ヶ岳を冬山合宿の定番にしていた。

ゴールデンウィークには、北鎌尾根、硫黄尾根、赤沢山の岩場、鹿島槍ヶ岳～五竜岳縦走、爺岳東尾根、白馬大雪溪、杓子岳東尾根、焼岳～安房峠縦走、安房峠～十石山～乗鞍岳～野麦峠縦走、野麦峠～鎌ヶ峰～長峰峠縦走などトレースしている。残雪のおかげで水に困らず、藪も埋まっているゴールデンウィークは長駆縦走のチャンスで、仙ノ倉山～谷川岳～巻機山縦走や巻機山～丹後山縦走などもやっている。

ゴールデンウィークの問題は天気。入山から雨で、ベースキャンプ設営したものの連日雨で為す術もなく撤収したことも一再ならずあった。悪天による足止めは、安全圏内なら問題ないが核心部へ踏み込んでからだと始末に悪い。対応を間違えると遭難事故を招く。きのうきょう新聞報道されているのは、この悪天につかまっただけの遭難であろう。

巻機山～丹後山縦走の途上、悪天につかまった。巻機山の手前までならまだ安全圏内、悪天につかまっても無理なく引き返せる。巻機山から丹後山に半日くらいすすんだ稜線上でいきなり猛烈な風が吹き、雨が降り始めた。笹藪の上にテントを張り、笹の根本を数本束にしてテントの四隅をしばりつけた。ジタバタせずじっと待った、まる 1 日。翌日の昼前、風が止み、雨が上がった。明るい陽射しがテントの中に注ぎこまれた。頭上には青空が広がっている。

ゴールデンウィークはチャンスであるが、チャンスは往々にしてピンチを招くことがあるのは肝に命じておこう。